

西河原公民館の活動の記録

平成 15 年度

狛江市立西河原公民館

狛江市立公民館基本方針

公民館は、人と人とを結ぶ役割をにないつつ、さらに地域住民の生活課題への取組を中心とした、学習や文化・レクリエーション活動に対し、施設設備の利用や相談、学習機会や資料の提供をとおして、生活に根ざした公民館活動を展開します。

狛江市立西河原公民館事業方針

- 1 快適な学習施設として環境を整え、市民の利用に供します。
- 2 社会教育に関する資料や情報の収集・提供をとおし、市民ニーズを反映した公民館の運営につとめます。→主に学習情報室
- 3 市民の自主的な学習・文化活動等、グループの育成・援助に努めます。
- 4 市民の学習活動の充実をめざし、施設設備及び諸機能の有効活用をはかります。
- 5 公民館活動への契機および学習や活動を発展させる機会として、主催講座や各種の事業を実施します。
- 6 教育機関相互の連携・協力および関係行政との連携をはかり、事業を円滑にすすめます。

目 次

狛江市立公民館基本方針	1
狛江市立西河原公民館事業方針	1
案内図	4
平成 15年度西河原公民館事業のあらまし	
平成 15 年度西河原公民館事業計画一覧	7
平成 15 年度西河原公民館事業予算	10
学級・講座等事業の記録	
学習情報室事業	
おはなし会	13
特別おはなし会	14
少年少女体験教室A	15
少年少女体験教室B	16
成人学習事業	
西河原セミナー「私のライフプランのために」	17
市民講座A「巣立ちに向けて」	19
市民講座B「消費社会の文化と構造」	20
市民講座C「メディア・リテラシーについて考える」	21
高齢者学習事業	
西河原カレッジ専門コース「狛江で自分を生かすために」	22
西河原カレッジ教養コースA「今、生きるということ」	23
西河原カレッジ教養コースB「西河原公民館郷土史講座」	24
西河原カレッジ教養コースC「シルバークッキング」	25
女性問題学習事業「それって本当にあたり前!？」	26
国際交流事業「日本語教室」	28
狛江市障害者青年学級	30
市民劇場	
西河原クリスマスコンサート	33
西河原映画会	34

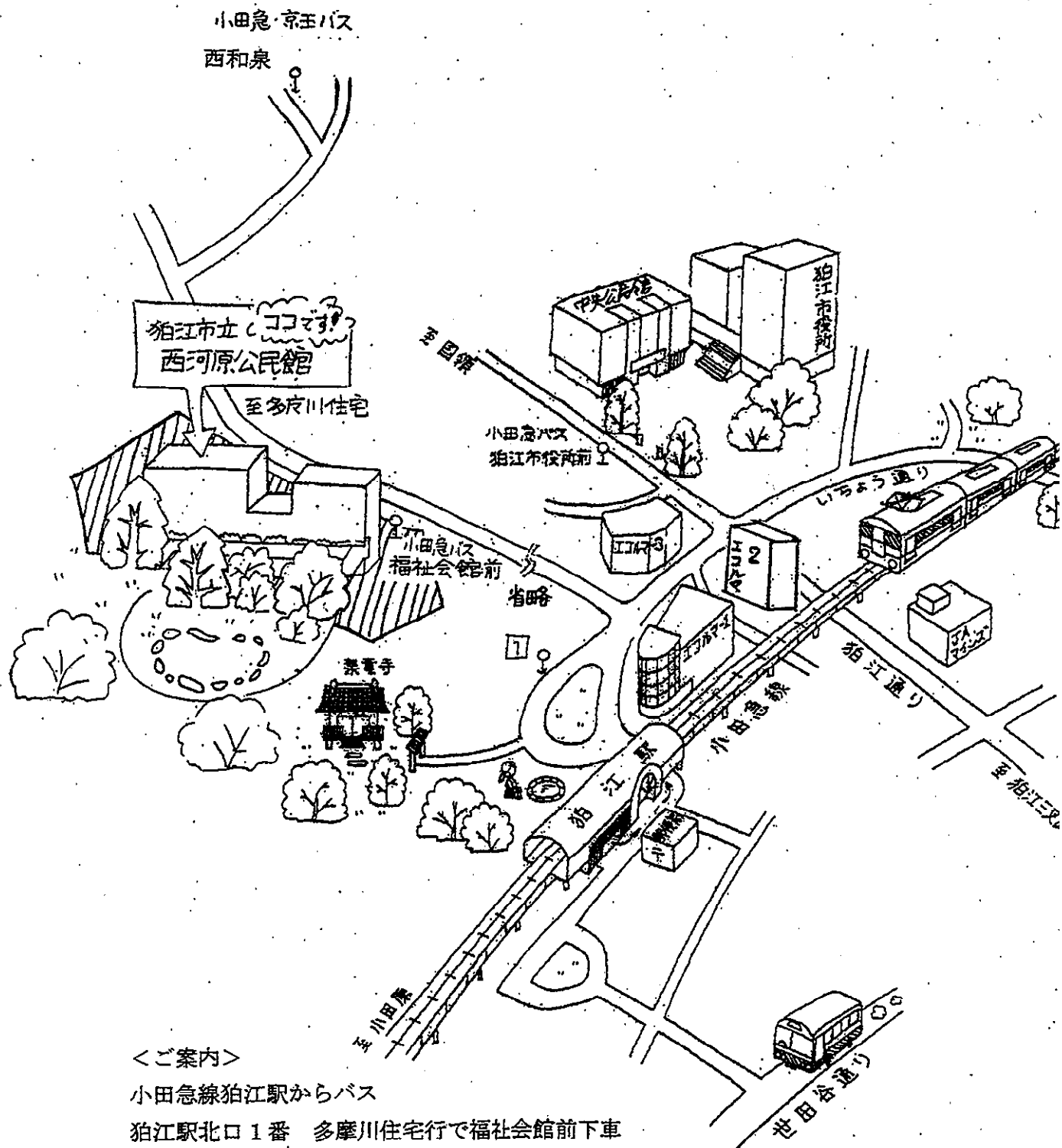
With You (あなたと共に)	35
地域交流事業「第15回いべんと西河原」	36
こまえ市民大学	39
ボランティア講座	
百人一首を楽しむ会	42
いきいき子育てルーム	43
西河原公民館後援事業「第5回狛江薪能」	44

豊かな利用をすすめるために

学習情報室	47
展示ギャラリー	48
展示ギャラリー使用要項	49
パソコン室使用者協議会	50
パソコン室情報学習コーナー使用要項	51
利用者懇談会	53
機能別施設・利用団体との調整及び懇談(料理実習室)	55
西河原公民館利用のご案内	56

資料

利用統計	59
施設設備・備品のご案内	63
施設、付帯設備・備品料金表	64



<ご案内>

小田急線狛江駅からバス

狛江駅北口1番 多摩川住宅行で福社会館前下車

京王線調布駅からバス

調布駅南口 多摩川住宅循環バスで西和泉下車

下車徒歩10分

2 狛江市立西河原公民館

〒201-0013 狛江市元和泉2-35-1

電話 03(3480)3201

FAX 03(3480)3203

平成15年度西河原公民館事業のあらまし

平成15年度西河原公民館事業計画一覧

(1) 事業方針

- ① 快適な学習施設として環境を整え、市民の利用に供します。
- ② 社会教育に関する資料や情報の収集・提供をとおり、市民ニーズを反映した公民館の運営につとめます。
- ③ 市民の自主的な学習・文化活動等、グループの育成・援助に努めます。
- ④ 市民の学習活動の充実をめざし、施設設備及び諸機能の有効活用をはかります。
- ⑤ 公民館活動への契機および学習や活動を発展させる機会として、主催講座や各種の事業を実施します。
- ⑥ 教育機関相互の連携・協力および関係行政との連携をはかり、事業を円滑にすすめます。

(2) 事業内容

事業名	内 容	対 象	期 日
施設設備の整備・充実	① 施設の快適性と安全性を維持するために、定期的に保守・点検を行い、利用に供します。 ② 専用室の活用を円滑にすすめるため利用者相互の協力や館との連絡調整をはかりながら、有効活用をすすめます。 ③ 自由な語らいと交流の場として、ロビーを開放しています。	市 民	年 間
ホ ー ル 運 営	① ホールの運営については、利用者との事前打合わせ等、連絡調整を密にして円滑にすすむよう努めます。 ② 音響・照明に関しては、必要に応じて専門技師（1名）を配置します。	市 民	年 間
自主グループの育成・援助・交流	① 利用団体の交流や公民館との連絡調整をはかるために「利用者懇談会」を開催します。 ② 求めに応じて助言・指導に当るなど、学習活動上の援助を行います。 ③ 活動のために必要な印刷やコピー等のサービスをしています。 ④ 団体活動室には、団体の資料等を保管する棚を設置し、簡単な打合わせや作業のためのミーティングテーブルがあります。	団体カード提出団体	年 間

事業名		内 容	対 象	期 日
個人利用		団体利用のみでなく、個人利用についても可能な範囲で対応します。	市 民	年 間
展示ギャラリー		芸術文化関係団体および個人の作品展や活動発表展等、市民のギャラリーとして利用に供します。	市 民	年 間
学 習 情 報 室	図書室資料の収集と分類および整理	図書 31,723 冊 雑誌 36 誌 新聞 4 紙 ビデオテープ 470 本 レーザーディスク 54 枚 コンパクトディスク 901 枚 カセットテープ 142 本	市 民	年 間
	図書の貸出しおよび館内サービス	図書・ビデオ・CDの個人貸し出しを行っています。また AV コーナーでの AV 資料の視聴ができます。 ① 図書 一人 8 冊 2 週間 ② ビデオテープ 一人 1 本 2 週間 ③ カセットテープ 一人 1 本 2 週間 ④ CD 一人 3 本 2 週間 資料の利用や読書のために ① 閲覧席 45 席 ② AV 関係 9 席	市 民	【開 室】 午前 10 時～午後 5 時 【貸出し】 午前 10 時～午後 5 時
	予約サービス	市内図書館・室間の相互貸借などによる資料の提供を行います。	市 民	年 間
	学習情報室事業	① 「西河原 BOOK だより」 新着情報月 1 回、テーマ別随時 ② ワゴンコーナー特設（資料展示） —おはなし会— 子どもたちが本に親しみ、楽しさを味わえるように援助します。 —図書室開放—	市 民 乳幼児・小学低学年の児童と保護者 市 民	年 間 年 間 毎週木曜日 午後 8 月
いきいき子育てルーム		乳幼児とその保護者にゆったりとした交流の場を提供します。	乳幼児と保護者	第 1・3 金曜日 午前
少年少女体験教室		子どもたちの学校外でのさまざまな体験の広場です。	小学生 16 名	年 間 午前・午後
成人学習事業 市 民 講 座		A. 情報化とくらし B. 市民のくらしと学び C. 狂言ワークショップ	市民 20 名	年間随時

事業名		内 容	対 象	期 日
成人学習事業 西河原セミナー		日本の文化の視点から女性をめぐるさまざまなことについて学習をすすめます。	市民（女性） 20名	9月～2月 午 前
高齢者学習事業	西河原カレッジ	専門コース	高齢者 20名	9月～12月 午 前
		教養コース	A. ライフプランを楽しむ B. 史跡講座	高齢者 20名
女性問題学習事業		女性問題の克服に向けて学習をすすめます。（託児付）	市民20名	10月～2月 午 前
国際交流事業 「日本語教室」		識字学習を中心に、日常会話や日本の生活文化等を学びつつ、市民や外国の方々との交流の場とします。 館外特別活動や市民まつり、いべんと西河原にも参加します。	外国人 70名	5月～3月 毎週土曜日夜 間
障害者青年学級		障害のある青年たちが、仲間とつどい、学び、遊び、自分たちの暮らしを広げ、豊かにしていく力を育てます。 全体活動（スポーツ等）、コース活動（学級生の要求に応じて）、音楽活動（ガチャバン）の平常活動のほか、キャンプや合宿、スキーなどにも取り組みます。	障害のある青年30名	5月～3月 第1、3日曜日 午前・午後
市民劇場	西河原映画会	映画の楽しさを伝え、潤いと感動を届けます。	市 民 200名	5月～3月 第2土曜日
	西河原クリスマスコンサート	市民による市民のためのファミリーコンサートです。	市 民 200名	12月 午 後
	小 劇 場	舞台芸術のワークショップ	市 民	3 月
地域交流事業 第15回いべんと西河原		市民のみなさんの公民館活動が地域に根付くようなイベントを、実行委員会を組織して展開します。	市 民	2月末、3月始 土・日を中心に
施設設備活用事業 「西河原舞台スタッフ講習会」		市民自身が西河原公民館の舞台運営に参加できるようにしていきます。	市 民	8 月 2 月
こまえ市民大学		こまえ市民大学運営委員会を中心に事業を展開します。	学識経験者 有 識 者 公募市民	年 間
ボランティア講座		地域の人々の専門的技術・技能を生かし、市民が共に学びあう場とします。	市 民	年 間

平成15年度西河原公民館事業予算

事業名		15年度事業予算 (千円)	14年度事業予算 (千円)	増減△額 (千円)	増減△率 (%)
西河原公民館費		63,094	61,515	1,579	2.6
	西河原公民館管理費	47,031	45,339	1,692	3.7
	西河原公民館運営費	2,305	2,335	△30	△1.3
	学習情報室事業	7,403	7,503	△100	△1.3
	少年少女体験教室	222	222	0	0.0
	成人学習事業	390	390	0	0.0
	高齢者学習事業	460	460	0	0.0
	障害者青年学級	1,723	1,723	0	0.0
	女性問題学習事業	129	129	0	0.0
	国際交流事業	340	340	0	0.0
	市民劇場	1,126	2,041	△915	△44.8
	地域交流事業	300	300	0	0.0
	施設設備活用事業	503	398	105	26.4
	こまえ市民大学	1,162	335	827	246.9

学級・講座等事業の記録

おはなし会

- 主 旨 子どもたちが本に親しみ、楽しさを味わえるように援助する。
- 日 時 平成15年4月3日～平成16年3月25日
毎週木曜日 午後3時30分～4時30分
年間計46回
- 会 場 西河原公民館・幼児室
- 内 容 子どもたちに本の楽しさを知ってもらうとともに、絵本だけでなく、おはなしや手あそび、工作など一時間の中で毎週異なる3つのプログラムを用意し、多くの子どもたちが参加できるように各回テーマを変えて工夫している。
- 教 材 絵本、紙芝居、折り紙など
- 対 象 幼児～小学校低学年とその保護者
- 定 員 22名
- P R 広報、チラシ・ポスター等
- 参加者 延べ1002人
- 評 価

おはなし会スタッフの企画により毎回テーマやプログラムが違い、スタッフが手作りで材料を用意したり、さまざまな箇所に工夫がなされている。参加者も多く、常連になっている子どもたちもいる。本の楽しさ、親しみ方が伝わっているのではないだろうか。今後とも充実していきたい。



特別おはなし会

- 主 旨 “いべんと西河原”の一環として、講師を招いて特別プログラムを組み、親と子、子どもと子どもの交流を深めつつ楽しんでもらうことを目的とする。
- 日 時 平成16年3月4日(木) 午後3時30分～4時30分まで
- 会 場 西河原公民館・幼児室
- 内 容 出演者による生演奏とうた、大型絵本、動物当てゲーム、動物サイコロゲームなど
- 教 材 大型絵本、動物サイコロ、マイク、アンプなど
- 対 象 乳幼児～小学校低学年の児童とその保護者
- P R 広報、チラシ・ポスター等
- 出 演 音楽グループ「風民」
- 参加者 24人
- 評 価

講師の方々によるギターの生演奏とうたで、子どもたちはすぐに真剣に聞き入っていた。講師の方も元保育士で子どもたちへの接し方に慣れており、子どもたちはたいへん親しみやすそうだった。当日は雨にもかかわらず定員以上の人数が集まった。今回は大型絵本にあわせた生ギターのBGMや、一緒に歌いながらのゲームに、子どもたちはいつもとは一味違った絵本の楽しさと、ゲームに夢中になっていた。終わりにおはなし会スタッフお手製の動物サイコロをお土産に、たいへん嬉しそうだった。今回の特別おはなし会はとてもよい評価ができると思う。

今後は、1年に1回の“いべんと西河原”をより活用し、“いべんと”が展開される同日(土・日)に設定するなど、普段おはなし会に関心を持たない人たちもターゲットにし、大々的に大きな部屋でたくさん子どもたちにこの楽しさを味わってもらいたいとも考えるが、小さい部屋でこの人数である良さもあるので、この点は検討課題だと考える。



少年少女体験教室 (A)

主 旨 学校5日制に伴う事業として、学校では体験出来ない教室を開催し、他校の児童・生徒との交流を図るとともに、力を合わせて物を作る等、有意義な休日とする。

日程及び内容

回	日 時	会 場	内 容	指 導
1	4月26日 午前10時～午後3時	生活工芸室	小鳥の巣箱づくり	クラフトハウス狛江
2	7月26日、8月2日 午前10時～午後3時	料理実習室	フェルトを使つての飾りづくり	アトリエフェルト
3	8月23日 午前10時～午後3時	生活工芸室	トールペイントで小物を作る	トールペイントチェリークラブ

内 容

1. 木工で小鳥の巣箱づくりと巣箱を西河原公園に設置
2. 多摩川から小石を拾い、羊毛を使ってフェルトづくり
3. クリル絵具を使って、オリジナルのペン立てづくり

方 法 実技・実習

教 材

1. 杉板2m、電動工具、取付用針金
2. フェルト、染色水、多摩川の小石
3. 木製ポスト、ペイント

対 象 小・中学生

定 員 1. 15名 2. 各12名 3. 15名

P R 狛江市広報、市掲示板、市内公共施設にポスター・チラシ配布、市立小・中学生全員にチラシ配布

参加者 1. 18名 2. 25名 3. 20名 延べ63人

参加費 材料費等実費 1. 500円 2. 500円 3. 600円

評 価

各シリーズともに、学校では行わない工作や小物づくりを中心に学校外体験教室としてのカラーを出したため、参加者は新しい作業に満足していた。これから子どもたちが新しい発見に出会えるような企画を考えていきたい。



少年少女体験教室 (B)

主 旨 当館の利用団体の協力を得て、日頃の成果を地域の子どもたちに教えながら、交流を広めるとともに、作品を作り上げる喜びを体験することをねらいとした。

日程及び内容

回	日 時	会 場	内 容	指 導
1	5月31日 午前10時～正午	学習室Ⅲ及び 多摩川河川	多摩川の自然観察(植物・鳥類)	倉持通夫さん
2	6月21日 午前10時～午後3時	生活工芸室	小物を使って多色の染物	青枝会
3	9月13日・27日 10月11日・25日 11月8日・22日 午前10時～正午	視聴覚室	和太鼓に挑戦	きんたの会
4	10月4日 午前10時～午後3時	学習室Ⅲ及び 多摩川河川	多摩川の自然観察(昆虫・魚類)	竹本久士さん
5	11月29日 午前10時～午後3時	料理実習室	手作りアロマキャンドル&フラワーアレンジメントにチャレンジ	神崎雅子さん

方 法 実技・実習

教 材 1. リーフレット、多摩川の動・植物図鑑
本物の植物
2. Tシャツ、染料、イモ判、スタンプ
3. 和太鼓8台
4. タオル・ビニール袋、弁当
5. ドライフラワー、吸水性スポンジ

対 象 小・中学生

定 員 1. 20名 2. 20名 3. 各12名
4. 20名 5. 20名

P R 狛江市広報、市掲示板、市内公共施設にポスター・チラシ配布、市立小・中学生全員にチラシ配布

参加者 1. 16名 2. 17名 3. 86名 4. 22名 5. 17名 延べ158名

参加費 材料費等実費 2. 300円 5. 1,000円

評 価

今年は3つのジャンルに分けて実施した。1. 多摩川の自然に触れ合う自然観察(①・④)、2. 日本の伝統芸能に親しむ(③)、3. 芸術的デザインを作りだす(②・⑤)、という内容でそれぞれ子どもたちは魚や昆虫など実物を初めて手に触れる感動、音楽を体感するよろこび、オリジナルデザインを創造する楽しさ、などを体験できたようだった。



私のライフプランのために

- 主 旨** 社会制度がめまぐるしく変化するなかで、今まさに年金制度が大きく変わろうとしている。主婦の年金問題をとりあげ、年金制度をとおして女性の生き方を考える。
- ねらい** 敬遠しがちな社会制度、老後の問題と思いがちな年金の問題を、今の自分に深く関わっていることを知り、この秋に変わった年金制度の仕組みをとおして自分のくらしを見つめ直し、今後のキャリアデザインを描くヒントを共に学び合う。

日程及び内容

回	期 日	テーマ	内 容
1	平成15年10月28日	オリエンテーション	自己紹介や講座の説明、自分史ワークシート
2	11月11日	女性と社会保障・労働	年金制度の問題点、改正部分について
3	11月25日	～年金が変わる～①	女性と労働について
4	12月9日	②③	
5	平成16年1月13日	私と家族	新しい家族関係「家族のゆらぎ」をこえて近代家族について分析・解説
6	1月27日	ライフプラン・キャリア	ライフプランを描く実践的講義
7	2月10日	プランとその課題について考える①②③	ライフプランを描く際の背景にある社会問題の壁について統計での分析、話し合い
8	2月24日		話し合い

隔週火曜、午前10時～正午

会 場 西河原公民館 学習室Ⅱ・Ⅲ

方 法 講義、討議・話し合い

教 材 新聞記事・プロジェクター・川崎市実態調査資料など

講師等 中村立子（川崎市男女共同参画センターすくらむ21館長）

津田好子（自主学习グループぶらすⅠ代表）

大矢さよ子（社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー）

土場 学（東京工業大学助教授）

小西ひとみ（NPO 法人女性と仕事研究所）

対 象 成人男女

定 員 20名

P R 広報・市内掲示板ポスター・市内公共施設チラシ配布・ポスター・週刊 web ニュース「k-press」ホームページ

参加者 延べ69人

評 価

社会制度をとりあげたため、個々人の問題だけでなく社会全体のことを前提として考える大きな視点を持った上でライフプランを描くということのヒントを得る講座となった。前半は受講者が少なく、あまり話し合いの機会を持つことができなかったため、知識的な面が多くなった。後半で再

募集をかけたところ、男性も加わり、活発な話し合いが持てるようになった。男性が入るだけでより多くの視点から話し合うことができ、ライフプランを描くため、また、社会の問題を考えるためには女性男性双方の理解が必要だと改めて感じた。年金制度については、これだけのテーマをとりあげて長期講座を設定してもよいほど深いテーマであるため、かなりの学習が必要となる。男女、又は働いている、働いていないにかかわらず取り組むべき共通問題をとりあげた講座をどのように設定すべきか大変難しく、今後の検討課題である。



築立ちに向けて

主 旨 子育てという一大事業に対して、参加者同士の経験などを語りながら、自分にとって子育てとは何なのか、を再確認する。

日程及び内容

回	期 日	時 間	内 容
1	1月14日(水)	午前10時～正午	乳幼児期の親子関係
2	1月21日(水)	午前10時～正午	思春期のころ
3	1月28日(水)	午前10時～正午	気になる様々な行動
4	2月18日(水)	午前10時～正午	居場所のない子どもたち
5	2月25日(水)	午前10時～正午	母性性と父性性

講 師 佐味 光子(カウンセラー)

会 場 西河原公民館 学習室Ⅱ

内 容 1. 乳幼児期の母親の役割・父親の役割についての説明
2. 思春期の子どものメッセージとは何か？
3. 不登校・ひきこもり・家庭内暴力など子どもたちが見せるSOSのサイン
4. 非行・薬物・援助交際など子どもたちの現状
5. 自分の中にある母性性・父性性を知る

方 法 講義・話し合い

対 象 成人(子育て中の方を中心に)

定 員 30名

P R 広報、市掲示板、市内公共施設にポスター・チラシ配布

参加者 延べ30名

参加費 無料

評 価

乳幼児期から思春期、青年期と子どもの成長過程で、子どもの心象風景と親の接し方について丁寧に進めたため、受講者の理解度が高く、話し合いの場でも非常に有意義な展開ができた。子育てについて、悩みを一人で抱えている人も多く、このような講座はまだまだ需要があると思われる。しかし、今回については保育つきではなかったため、子育て真っ最中の方の参加は少なく、これからは講座開設の環境面からのサポートも必要だろう。

消費社会の文化と構造

主 旨 情報が氾濫し、多様な価値観が生まれている現在、社会現象をどのように捉えるべきか、世代論を中心にマーケティングと社会学の両面から学習する。

日程及び内容

回	期 日	時 間	内 容
1	2月7日(土)	午後1時～午後4時	団塊世代と真性団塊ジュニア世代
2	2月14日(土)	午後1時～午後4時	現代若者のトレンドと消費性向

講 師 三浦 展 (立教大学講師)

会 場 西河原公民館 学習室 I

内 容 1. 団塊世代、新人類世代、真性団塊ジュニア世代など世代ごとの特徴と価値観を統計・データを示しながら、解説
2. 現在の若者文化について、マーケティングの面から現状と流行を考察

方 法 講義

教 材 パワーポイント、CD-R

対 象 成人

定 員 50名

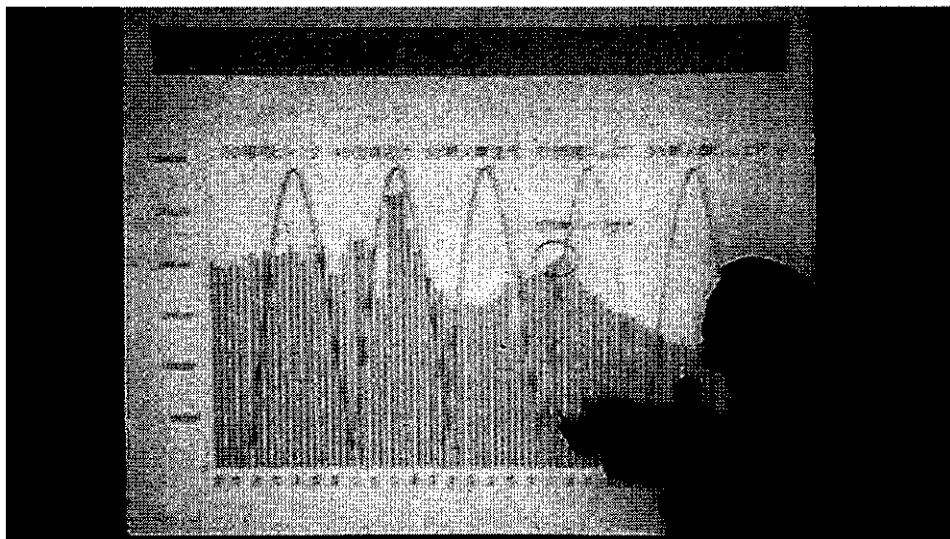
P R 広報、市掲示板、市内公共施設にポスター・チラシ配布

参加者 延べ14名

参加費 無料

評 価

パワーポイントやCD-Rなどで写真やデータを豊富に使いながら、視覚に訴える講座の進め方をしたため、大変理解しやすく、面白い講座となった。しかし、残念ながら講座のタイトルが曖昧で難しい印象を与えたため、受講者が少なくなってしまった。これからは、具体的かつ講座の興味をそそるような工夫が必要だろう。



メディア・リテラシーについて考える

- 主 旨 メディア・リテラシーという言葉を理解し体験することによって、テレビやインターネットなどへの上手な接し方を学ぶ。
- 日 時 平成16年3月27日(土) 午前10時～正午
- 講 師 見城 武秀(成蹊大学講師)
- 会 場 西河原公民館 学習室Ⅱ
- 内 容 ビデオを見ながら、メディア・リテラシーとは何かを学習した。
- 方 法 講義・話し合い
- 教 材 ビデオ『ベル友』
- 対 象 成人
- 定 員 30名
- P R 広報、市掲示板、市内公共施設にポスター・チラシ配布
- 参加者 13名
- 参加費 無料
- 評 価

当初、メディア・リテラシーなどの単語を知らない方の申込みを予想していたが、現在の情報化社会を反映してか、受講者の関心・知識も高かった。今回は1回だけの講座で基礎的な部分のみを扱ったが、連続講座でもっと深くテーマを掘り下げてもいい企画であった。



狛江で自分を生かすために

主 旨 定年を迎える、子育てが終るなど、人生の節目を迎えた方へ。このあたりで地域に目を向けてみませんか。

「狛江」という地域を理解し、学び、市民交流を深めることを目的とする。

日程及び内容

回数	月 日	学 習 テ ー マ	学 習 内 容
1	9月19日	講座の開設にあたって	講座の意味や日程説明
2	9月26日	地域を知るⅠ 狛江の変貌	まちの移り変わり／講師井上孝さん
3	10月3日	〃 〃	狛江を歩く／歴史散策講師井上さん
4	10月10日	地域を知るⅡ 地域活動	(社)狛江市シルバー人材センター
5	10月17日	地域を知るⅢ 市民参加	市民参加について 市民協働課
6	10月24日	地域を知るⅣ 市民の学習	公民館利用団体 西河原公民館
7	10月31日	話し合い・交流	講義 堀 恒一郎さん
8	11月7日	市民活動を知るⅠOB との交流	西河原カレッジOB との交流 白坂秀吉さん・新村是さん
9	11月14日	市民活動を知るⅡサークル活動	地域活動について 関根勝弥さん
10	11月21日	地域を知るⅤ	介護保険について 介護福祉課
11	11月28日	市民活動を知るⅢ	NPO 活動 ボランティア 市民協働課
12	12月5日	市民の学習と活動	講義と話し合い 堀 恒一郎さん

毎週金曜日 午前10時～正午（11月7日のみ午前11時～午後1時）

会 場 西河原公民館 学習室Ⅱ

講 師 堀 恒一郎さん（国学院大学名誉教授）

対 象 市内在住の中高齢者

定 員 20名

P R 広報・ポスター（市内掲示板・各公共施設）チラシ（各公共施設）

参加者 延べ106人 男10人 女3人

参加費 650円（11月7日昼食代）

評 価

初めて参加された方や、色々なところで学習会等に参加されている方、また会社等で活躍された方々の活発な意見、質問が出て内容がかなり高度なものになりました。反面、話している内容が理解できなくて苦労した方もいました。

今、生きるということ

～充実した人生のために～

主 旨 こころの豊かさを求めて自分の老いとう向き合うか考えてみる。

日程及び内容

回数	月 日	学 習 テ ー マ	講 師
1	6月4日	講座の意味や学習の進め方など	カウンセラー 佐味光子さん
2	6月11日	激動期における人間の生きざま	作家 渡辺房男さん
3	6月18日	日本人の死生観	法専寺住職 伊藤明麿さん
4	6月25日	老いところ	虎ノ門産婦人科医 堀口雅子さん
5	7月2日	気功でいきいき	日本気功科学研究所 指導員 竹内泰子さん
6	7月9日	話し合い・ワーク	カウンセラー 佐味光子さん
7	7月16日	日本一幸せな犬とともに	新光館館長夫人 加藤祥子さん
8	7月23日	高齢者の食とくらし	管理栄養士 大久保裕子さん
9	7月30日	学習のまとめ	カウンセラー 佐味光子さん

毎週水曜日 午前10時～正午

対 象 中高年者

定 員 20名

会 場 西河原公民館 学習室Ⅱ

P R 広報・ポスター・チラシ

参加者 29名(男7 女22)

延べ219人

参加費 無料

評 価

今まで、子育てや会社勤めで自分自身を見つめるような学習機会がなかったひとに、今回、今の自分に何が出来るのかを考える機会をつくることができた、また自主グループも立ち上げ自分たちで学習する場ができた。

西河原公民館郷土史講座

主 旨 狛江の歴史を学び狛江に親しんでもらうことと参加者相互の親睦を図ることを目的とする。

日程及び内容

回数	月 日	時 間	学習テーマ
1	10月22日	午前10時～正午	古い道
2	10月29日	午前10時～正午	鉄道
3	11月 5日	午前10時～正午	バス・道
4	11月12日	午前9時30分～正午	史跡散策（市内）

毎週水曜日

対 象 市内在住の中高齢者
定 員 20名
参加費 無料
会 場 西河原公民館 学習室Ⅱ 市内
講 師 井上 孝さん（狛江市文化財専門委員）
方 法 講義形式、質疑応答・史跡現地見学
P R 広報・ポスター・チラシ
参加者 男15人 延べ51人
評 価

狛江の歴史については、長年住んでいたがあまり知らなかった方が多かった。これを機に狛江について、あるいは身近なことについて学習のきっかけができたのではないか。



シルバークッキング

主 旨 こころの豊かさを求めて、自分の老いとうり向き合うかを学び、充実した人生を送るために参加した方々との親睦を深める機会とする。

日程及び内容

回数	月 日	内 容
1	2月 2日	栄養の講義・胚芽米入りご飯、けんちん汁、花シューマイ、春菊のサラダ
2	2月 9日	ご飯、魚の野菜あんかけ、小松菜と納豆の辛子醤油、豆腐と葱の味噌汁
3	2月16日	ご飯、ドライカレー、大根の焼酎漬、葱のマリネ
4	2月23日	ご飯、味噌仕立てキャベツ鍋、白菜サラダ、小松菜ケーキ

毎週月曜日 午前9時30分～午後2時

講 師 小林秀子さん（料理研究家）
参加費 1回500円（材料費）
持ち物 エプロン・三角巾・筆記用具
教 材 洗剤・ふきん10枚・スポンジ
対 象 市内在住の55歳以上の男性
定 員 20名
会 場 西河原公民館 料理実習室
P R 広報・チラシ（各公共施設）
 ポスター（市内掲示板・各公共施設）
参加者 延べ71人
評 価



全員が男性で、料理を作ったことのない方、たまに作る方たちで行いましたが、最初の栄養の摂取量の講義では、1日に採らなければならない量又は塩分を採りすぎる量をみんな真剣にメモ等を取り、実技に移り真剣に取り組んでいた。作業も最初は、できる人が庖丁できざんだりして、やったことのない人はみているだけであったが、交代で作業を行ったりして、和やかな雰囲気ですべてができた。事業では他の人に聞きながらできたが、自宅で1人で行えるか、担当者としてはちょっと不安である。

それって本当にあたり前！？

～ “私” の視点をはぐくもう～

主 旨 女性問題の関心を深め、問題点を整理し理解を深めるとともに、参加者みんなで学習をすすめる。

日程及び内容

回	期 日	内 容	講 師
1	9月10日	オリエンテーション	津田好子（自主活動グループ ぶらすI）
2	9月17日	家庭の中の「妻と夫」の関係 ～公平な「妻と夫」の関係って？～	中村立子（川崎市男女共同参 画センター館長他）
3	9月24日	大人の“常識” おしつけてませんか？ ～「男の子」も「女の子」もその子の個性 を伸ばす子育てを～	土場学（東京工業大学助教授）
4	10月1日	学校教育の「男の子」「女の子」	近藤弘（立教大学教授）
5	10月8日	まとめ・女性を取り巻く今日的課題	藤原千賀（武蔵野大学教授）

毎週水曜日 午前10時～12時

会 場 西河原公民館 学習室Ⅱ

内 容 主に講師の話を聞く事が中心となり、その後参加者から意見を聞いた。

- 1、参加者の参加動機と講師の取組についての話があった。
- 2、講師が現代社会の問題を話し、女性だけでなく男性の問題であるということ、お互いを尊重した夫婦の関係などの話をした。
- 3、子育てにおいて特に「男の子」にプレッシャーが向けられていることとその問題点などについて講義
- 4、学校教育の中で知らず知らず植え付けられているジェンダーとその問題点について講義
- 5、男女問題の日本制度での取り組みの流れの解説と、理解のズレがあるまま進められた新しい法案の問題点とその危険性について解説。本当に必要な制度、整備とは何なのかという投げかけ

方 法 講義、話し合い

教 材 参考図書等

対 象 成人（とその子ども）

定 員 20名

P R 狛江市広報、市掲示板ポスター、市内公共施設にポスター・チラシ配布、くらしの窓、K-Press ホームページ

参加者 延べ女性51人（幼児20人）

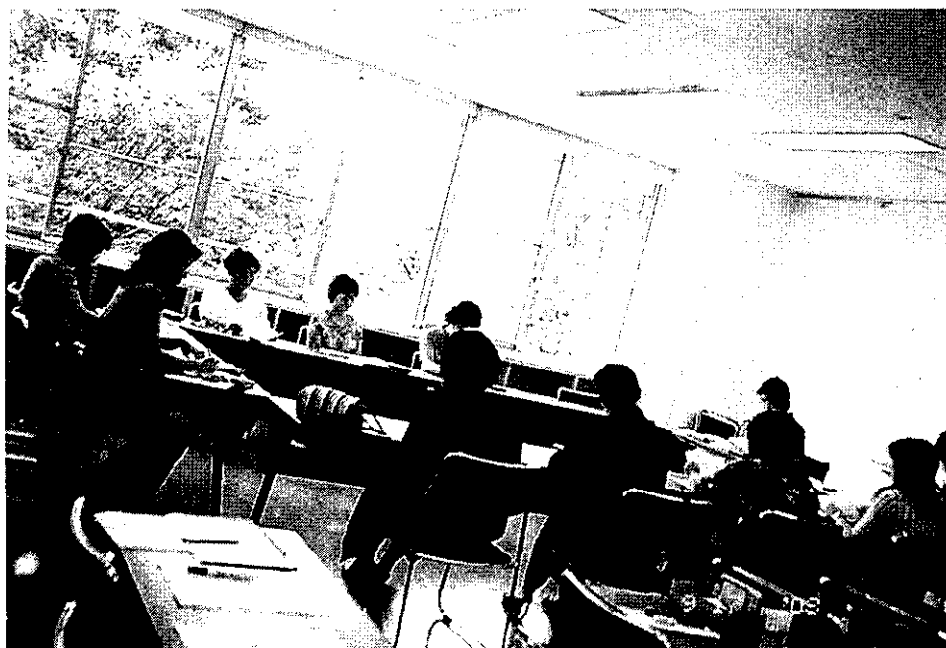
参加費 おやつ代1回50円

評 価

初心者が幅広く理解できるように設定したいと思い、回ごとに異なるさまざまなテーマを取入れた講座とした。そのため、全体的に広く浅い講座になった。

感想から、講師が問題点としてあげているのはだいたい理解が得られ、「気付き」も多いようであったことが分かった。しかし、毎回、講師も異なり、話合いの時間が少なかった。そのため、テーマごとに自分の問題として深く掘り下げるまでにはいたらなかった。

ジェンダーの問題を取り上げる時には、差別についての知識だけでなく、なぜそのことが問題なのかという点を学ぶことが必要だと思う。その点で、助言者と最終回の講師の話でジェンダーの再生産が社会問題として少子化や日本経済の問題につながることにについての視点を学ぶことができたのはよかったと思う。受講生の年齢に幅があり、特に公開講座では講座への期待はさまざまあり、すべての学習要求に答えることは難しかった。それでも学習を進めるにつれ、共通の新しい関心と問題意識を導き出すことが今後の課題である。



日本語教室

- 主 旨** 外国から日本に来た方々が日本語及び生活文化を学ぶ場として開催。市民と外国人による市民レベルの交流が深まることを目的とする。
- 運 営** 市民スタッフによる日本語教室運営委員会に委託
- 日 時** 平成 15 年 5 月 17 日～平成 16 年 3 月 13 日
毎週土曜日 全 40 回
午後 6 時～午後 9 時 20 分
18:00～19:50 中学生の学習補習
19:00～19:50 クラス別学習
20:00～20:30 全体会話学習（ホームルーム）
20:30～21:20 クラス別学習
- 会 場** 西河原公民館 和室他
- 内 容** 中学生の学習補習コース…英語・数学（学校の補習や受験のための学習）
識字コース…あいうえお等、日本語の第 1 歩から始めます。
一般コース…日常会話を中心に、それぞれの力に合わせて少人数で学習します。（子どもの学校生活についての話し合いなども取り入れてます。）
特別コース…日本語検定コース、ワープロ講座など
全体会話学習（ホームルーム）…教室全体交流会で、みんなで楽しい交流の企画をします。

【行事】

懇親のつどい…みんなで作ったお国自慢の料理を食べながら親睦を深めた。

平成 15 年 7 月 5 日（土）、平成 15 年 12 月 20 日（土）

館外活動…年 1 回、狛江市のバスで秋の 1 日を楽しんだ。

平成 15 年 10 月 26 日（日）小江戸川越 参加者 40 名

第 15 回いべんと西河原参加

平成 16 年 2 月 29 日（日）世界の家庭料理（餃子）、写真展（活動紹介）参加者 40 名

対 象 外国から狛江に来ている方

参加者 出身地域：中国、韓国、台湾、タイ、フィリピン、アメリカ、ロシア他 8 か国

市民スタッフ：運営委員 9 名、協力ボランティア 31 名

受 講 者：65 名

P R 広報、日本語教室のご案内の配布

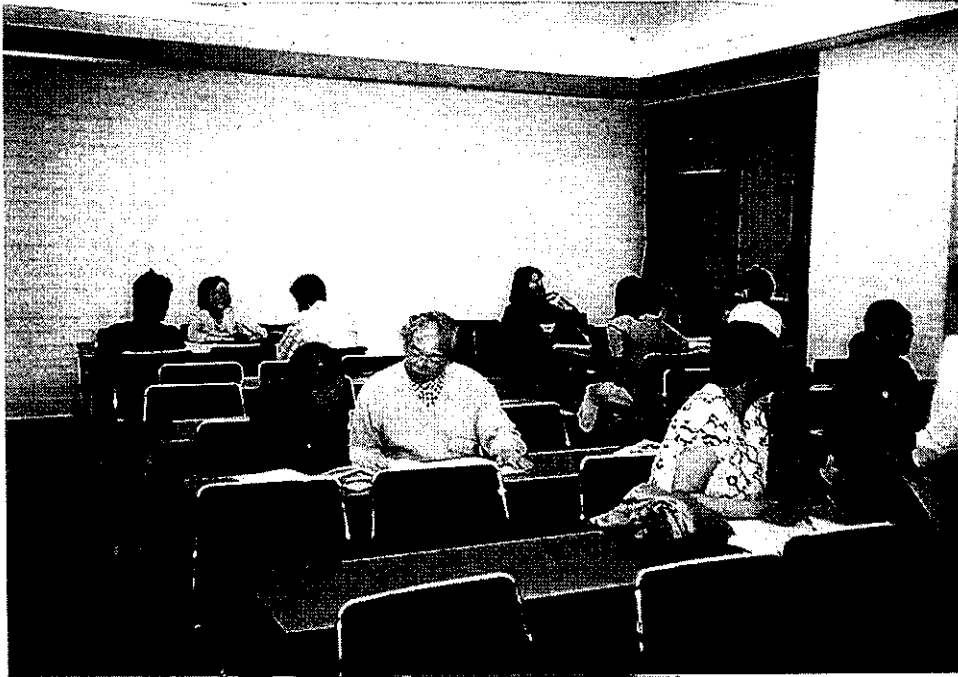
参加者 生徒延べ 936 名、先生 883 名、計 1,819 名

参加費 無料

機関紙 「てらこや」6 回発行

評 価

今年度も日本語教室の安定した運営を行うことができた。それは通常の教室や行事等、懸命に活動した市民スタッフのおかげであり、感謝したい。これからも、ますます充実した活動を行うため、スタッフの充実を図りたい。



狛江市障害者青年学級

- 主 旨** 障害のある青年たちが、仲間とつどい、学び、遊び、自分たちの暮らしを広げ、豊かにしていく力を育てる。
- 日 時** 平成15年5月18日～平成16年3月21日まで
平常活動—毎月第1・3日曜日 午前10時～午後4時
その他、行事等 全21回
- 会 場** 西河原公民館及び和泉小学校体育館・グランド
- 内 容** 詳細は別表のとおり

【平常活動】

全体活動 午前10時～正午

主にスポーツに取り組む。

コース活動 午後1時～2時30分

みんなのやりたいことを取り上げて取り組む。他に、話し合いや生活に必要な知識や学習を行う。

ガチャガチャバンド（ガチャバン） 午後2時30分～3時30分

学級のバンド。みんなで楽器を演奏し、歌う。ほおずき祭り、市民まつり、クリスマス会、いべんと西河原の舞台発表の場をもった。

【行事】

ほおずき祭り

日 時 平成15年7月6日(日)

場 所 泉龍時 参加者26名

キャンプ

日 時 平成15年7月20日(日)～21日(月)

場 所 表富士グリーンキャンプ場 参加者21名

合 宿

日 時 平成15年11月1日(土)～2日(日)

場 所 東京都府中青年の家 参加者19名

市民まつり

日 時 平成15年11月16日(日)

場 所 狛江第一小学校市民まつりステージ 参加者21名

クリスマス会

日 時 平成15年12月20日(土) クリスマス準備（ケーキ作り） 参加者10名

平成15年12月21日(日) クリスマス会当日 参加者28名

場 所 西河原公民館 料理実習室・多目的ホール

スキー合宿

日 時 平成16年2月13日(金)午後8時～16日(月)午後7時

場 所 白馬乗鞍国際スキー場 参加者43名

第15回いべんと西河原

ガチャバン出演

日 時 平成 16 年 2 月 29 日(日)

場 所 西河原公民館 多目的ホール 参加者 17 名

作品展示

日 時 平成 16 年 2 月 28 日(土)29 日(日)、3 月 6 日(土)7 日(日)

指導者 常任指導者：ガチャバン 小畑 あや
スポーツ 高橋 憲司
運 営 本多 由加理

指 導 者：遠藤 勝正

スキー指導者：泉 順太郎、伊藤 正司、三村 寛、立谷 泰久、藤岡 基、遠藤 大哉

看 護 師：木村 由美子、小林 恵子

対 象 義務教育終了後の主に知的障害を持つ青年男女（通級可能な方）

定 員 30 名

P R 広報、チラシ・ポスター

参加者 延べ 594 人

発行物 つうしん「にこにこ新聞」0 号～18 号
平成 14 年度活動記録・文集「なかま」22 号

参加費 平常活動は基本的に材料費等実費
キャンプ 3,000 円
スキー 25,000 円

評 価

学級生からやりたいことの提案が多くあった。コース活動もそうだが、とくに音楽活動のガチャバンではたくさん曲があげられた点で学級生が積極的であったと思う。スポーツ活動でもダンスをとりあげ、特にほおずき祭りでは華やかなステージになった。

今年度のスキー合宿では現地の共働学舎の人たちと交流会を持つことができたのがたいへんよかったと思う。ただなんとなく楽しいことをするだけではなく、何かを乗り越えたときの達成感と楽しさは大きいと思う。スキーではこのことを経験できるのではないだろうか。また、今年度のガチャバンでは多くの学級生が指揮者などを体験し、初めて挑戦することもいくつかあった。

新規参加者が少ないこと、スタッフが不足しているがボランティアが定着しないことなど学級を発展させるには課題がたくさんある。



別表

平成 15 年度年間活動

回	月 日	内 容—コース活動の内容	場 所
1	5. 11(日)	準備会 (午前10時～正午)	西 河 原 公 民 館
2	5. 18(日)	開級のつどい—オリエンテーション	西 河 原 公 民 館
3	6. 1(日)	平常活動—なかま表紙絵, キャンプ話し合い	西 河 原 公 民 館
4	6. 15(日)	平常活動—ほおずき祭りの練習	西 河 原 公 民 館
5	7. 6(日)	ほおずき祭り	泉 龍 寺
6	7. 20(日) 21(月)	キャンプ (1泊二日)	表 富 士 グ リ ー ン キャンプ場
7	8. 3(日)	手作り豆腐, うどん作り	あいとぴあセンター 料理実習室
8	9. 7(日)	平常活動—バンダナの染色	西 河 原 公 民 館
9	9. 21(日)	平常活動—陶芸 (作陶)	西 河 原 公 民 館
10	10. 5(日)	平常活動—合宿話し合い	西 河 原 公 民 館
11	10. 19(日)	平常活動—陶芸 (釉がけ)	西 河 原 公 民 館
12	11. 1(土) 2(日)	合宿 (1泊二日) サントリービール工場見学	東京都府中青年の家
13	11. 16(日)	“市民まつり” ステージガチャパン出演	第一小学校
14	12. 7(日)	平常活動—クリスマス会準備 (カード作り等)	西 河 原 公 民 館
15	12. 20(土)	クリスマス準備(ケーキ作り)	西 河 原 公 民 館
16	12. 21(日)	クリスマス会	西 河 原 公 民 館
17	1. 18(日)	平常活動—もちつき大会	西 河 原 公 民 館
18	2. 1(日)	平常活動—スキー説明会, 話し合い	西 河 原 公 民 館
19	2. 13(金) ～16(月)	スキー合宿 (夜行2泊三日)	白 馬 乗 鞍 国 際 スキー場
20	2. 29(日)	“いべんと西河原”	西 河 原 公 民 館
21	3. 21(日)	開級のつどい—ビデオで振り返る一年	西 河 原 公 民 館

西河原クリスマスコンサート

主 旨 市民による市民のためのコンサートを開催し、市民の文化活動を広く共有する機会として、市民の文化活動の育成・援助の一環とする。

日 時 平成 15 年 12 月 20 日（土） 午後 2 時～午後 3 時 30 分

会 場 西河原公民館 多目的ホール

内 容 ハンドベル：狛江ハンドベルサークル

1. きよしこの夜
2. 赤鼻のトナカイ
3. 愛のオルゴール
4. アメイジング・グレース

女声コーラス：ココラーレ

1. 我が家～ひとりぼっちの晩餐会
2. ひいらぎかざろう
3. Have Yourself a Merry
Little Christmas
4. アヴェ・マリア
5. ハレルヤ

管弦楽：狛江フィルハーモニー管弦楽団

1. 組曲（ホルベアの時代から）
2. クリスマス・フェスティバル
3. 主よ人の望みの喜びよ

合同演奏

1. ジングルベル
2. きよしこの夜
3. もろびとこぞりて

総司会：小畑あや

対 象 市民

定 員 200 名

P R 広報、市掲示板、市内公共施設にポスター・チラシ配布、市立小・中学生全員にチラシ配布

入場者 120 名

入場料 無料

評 価

毎年行われている事業であるが、今年は例年に比べ、入場者が少なかった。ポスターやチラシを派手なものに変更するなど、関心を集める工夫が必要である。

市民劇場

西河原映画会

主 旨 劇場スタイルの会場で気軽に映画鑑賞が出来る機会をつくり、映像文化をと
おして、潤いと感動を届けます。

会 場 西河原公民館・多目的ホール

日程及び内容

回数	月 日	上 映 作 品	借 上 げ・借 用 先
1	5月9日	とび・うおーず	東京視覚教育映画社
2	6月14日	風の子どものように	東京都立日比谷図書館
3	7月12日	微笑を抱きしめて	東京都立日比谷図書館
4	8月9日	美女と野獣	東京視覚教育映画社
5	9月13日	クルタ	東京視覚教育映画社
6	10月11日	心をむすぶ愛のハーネス	東京都立日比谷図書館
7	11月8日	ライブ・イズ・ビューテフル	東京視覚教育映画社
8	12月13日	サンタクロース リターンズ	東京視覚教育映画社
9	1月10日	こむぎいろの天使	東京都立日比谷図書館
10	2月14日	フランダースの犬	東京視覚教育映画社
11	3月13日	ミクロキッズ	東京視覚教育映画社

5月～3月の毎月第2土曜日、午前10時と午後2時の2回上映

対 象 市民

定 員 200名

入場者 延べ1,708人

入場料 無料

P R 広報、ポスター（市内掲示板・公共施設）チラシ（公共施設）

評 価

予算の都合上、人気のあるフィルムは借りるのが難しく集客もままならないが、なんとかやり繰りしながら行っている。今年は、1回台風と重なり集客数が少なかった。映写事故もなく無事に上映できた。

市民劇場

With You (あなたと共に)

主 旨 市民が気軽に芸術・文化に触れる機会を提供し、親子で楽しめる休日とする。

日 時 平成16年3月27日(土) 午後2時～午後4時

会 場 西河原公民館 多目的ホール

内 容 歌・タップダンス

出 演 吉田 ひかる、みずえ、境田 桃子

対 象 市民

定 員 200名

P R 広報、市掲示板、市内公共施設にポスター・チラシ配布

入場者 70名

入場料 無料

評 価

元劇団四季の祖父江 進さんの監修及び出演者がプロだったため、レベルの高い舞台を演じてくれた。しかし、ポスターやチラシの作成などが遅れ、市民に十分PRできず入場者が少なくなってしまうことが残念である。今回は地域の子どもたちを巻き込んだイベントではなかったが、観客者が出演者にもなるという企画も楽しそうである。



第15回いべんと西河原

主 旨 参加を希望する西河原公民館利用団体を主とした団体・個人で実行委員会を組織し、1年間の活動の成果を展示や舞台上で発表する場を持つことで、利用団体同士、また広く市民との交流の機会及び市民文化の発信の場とする。

実 施 第15回いべんと西河原実行委員会（委託）

期 間 平成16年2月28日（土）、29日（日）、3月6日（土）、7日（日）

【特別おはなし会】 3月4日（木）

会 場 西河原公民館全館

内 容 詳細はプログラム

P R 広報、市掲示板、市内公共施設にポスター・チラシ配布

参加者 延べ13,778人

実行委員会

78団体、80名

第1回実行委員会 平成15年10月22日（水）午後7時～

- ① 開催要項・実行委員会規約の説明と承認
- ② 実行委員会役員の選出
- ③ 参加企画書の提出と日程、内容及び全体の取組について

第2回実行委員会 平成15年11月19日（水）午後7時～

- ① 進行表（案）の調整
- ② 参加内容別打ち合わせ
- ③ 実施計画書記入用紙配布（12月17日までに提出）

第3回実行委員会 平成16年1月29日（水）午後7時～

- ① 当日の日程・進行の最終確認
- ② 参加内容別打合せと詳細の決定及びホール関係控室の調整
- ③ 冊子プログラムの校正

第4回実行委員会 平成16年3月23日（火）午後6時30分～

- ① 実施報告と会計・監査報告
- ② 参加団体からの感想や意見交換
- ③ 実行委員会終了後慰労会

評 価

オープニングの変更、受付の設置、プレゼントの抽選、チラシやパンフレットの全面改訂、ホール開演中の後部入口のみの入退場など今回から変更したものが数多くあった。その変更点の企画・立案は実行委員会から選出された役員や企画委員の会議で決定された。実行委員会とは別に、全5回にわたる役員・企画委員会会議で“いべんと西河原”の運営方針を決めることによって、今までより良い“いべんと西河原”ができた。その結果が、過去最高の来館者数という数字に表れたと思う。

2004/5/27
實施日・2004/2/28.29・3/6.7

2/9(日)	2/9(日)
--------	--------

37



こまえ市民大学

主 旨 仮称「こまえ市民大学」検討委員会報告書に基づき、新事業を展開し、学習文化活動の発展をめざす。

評 価

初めての試みで、実施した。一部PR不足もあり、参加者が少なかった講座もあったが、全体的には運営委員の方々のご苦勞で成功に終わった。

【開講記念講演】

テーマ アンデスの黄金 ～よみがえった古代の神殿～
 日 時 10月25日(土) 午後2時～4時15分
 会 場 中央公民館 地下ホール
 方 法 スライドを使用して講演
 教 材 スライド、スクリーン
 講 師 大貫 良夫さん(東京大学名誉教授・野外民族博物館リトルワールド館長)
 対 象 市民
 定 員 100名
 P R 広報、ポスター(市内掲示板・公共施設等) チラシ(公共施設等)
 参加者 100名

【歴史講座】

テーマ 江戸を知り、江戸時代に学ぶ

回数	月 日	内 容	講 師
1	11月15日 (土)	江戸時代とは～江戸時代の改革の変遷	北原 進さん(江戸東京博物館研究室長)
2	11月29日 (土)	江戸時代後期の定常型社会と義民伝承	横山 十四男さん(元筑波大学教授)
3	12月6日 (土)	江戸時代の暮らしとリサイクル	石川 英輔さん(作家)
4	12月20日 (土)	江戸時代の情報伝達と情報屋	吉原 健一郎さん(成城大学教授)
5	1月10日 (土)	江戸時代の下級武士の生活	磯田 道史さん(慶応義塾大学講師)

会 場 西河原公民館 学習室Ⅰ
 教 材 OHP、スライド
 対 象 市民
 定 員 40人
 P R 広報、ポスター（市内掲示板・公共施設等）、チラシ（公共施設等）
 参加者 延べ257人
 参加費 1回200円

【女性問題講座】

テーマ ジェンダーと自己表現ワークショップ～もう一度、いまここでの自分～

回数	月 日	内 容	講 師
1	1 月 22 日 (木)	自己表現とジェンダーについて考えるワークショップ	深沢純子さん（城西国際大学講師・ヒューマンサービスセンター）
2	1 月 29 日 (木)	近代日本の女性が表現してきたものを知ろう	麻鳥澄江さん（ジョジョ企画・「女の暦」編集者）
3	2 月 5 日 (木)	女性と手芸	山崎明子さん（美術史研究者・イメージ&ジェンダー研究会）
4	2 月 12 日 (木)	見る私／作る私	深沢純子さん（城西国際大学講師・ヒューマンサービスセンター）
5	2 月 19 日 (木)	4回の講座を終えて	鈴木美和子さん（コーディネーター）・女のミニコミ「マイマイ族」主宰・大学講師

時 間 午前10時～正午

会 場 西河原公民館 学習室Ⅱ

対 象 女性の市民

定 員 20名

P R 広報、ポスター（市内掲示板・公共施設等）、チラシ（公共施設等）

参加者 延べ54人

参加費 全5回分600円 公開講座のみ1回100円

【自然科学講座】

テーマ 現代科学の最前線

回数	月 日	内 容	講 師
1	1 月 31 日 (土)	新薬を求める微生物ハンター ～一攫千金となるか、夢だけ残るか～	奥田 徹さん (玉川大学教授)
2	2 月 14 日 (土)	ロケットの過去・現在・過去 ～宇宙空間の利用に向けて～	鈴木 俊夫さん (東京大学教授)
3	2 月 28 日 (土)	ヒトゲノム、クローン人間、ES 細胞～人類の未来はバラ色か、滅亡か～	降旗 千恵さん (青山学院大学教授)

時 間 午後 2 時～3 時 30 分

会 場 中央公民館 講座室

対 象 市民

定 員 30 名

P R 広報、ポスター (市内掲示板・公共施設等)、チラシ (公共施設等)

参加者 延べ 114 人

参加費 1 回 200 円

ボランティア講座

百人一首を楽しむ会

主 旨 子どもたちの余暇を利用して、ボランティア指導者による百人一首を楽しむ集い。

日 時 5月～3月の毎月第2土曜日 午後2時～午後4時

会 場 西河原公民館 和室

指導者 坂本安正さん（ボランティア指導者）井上孝さん（ボランティア指導者）

対 象 小学校5年生以上・中学生・高校生

定 員 20名

参加費 無料

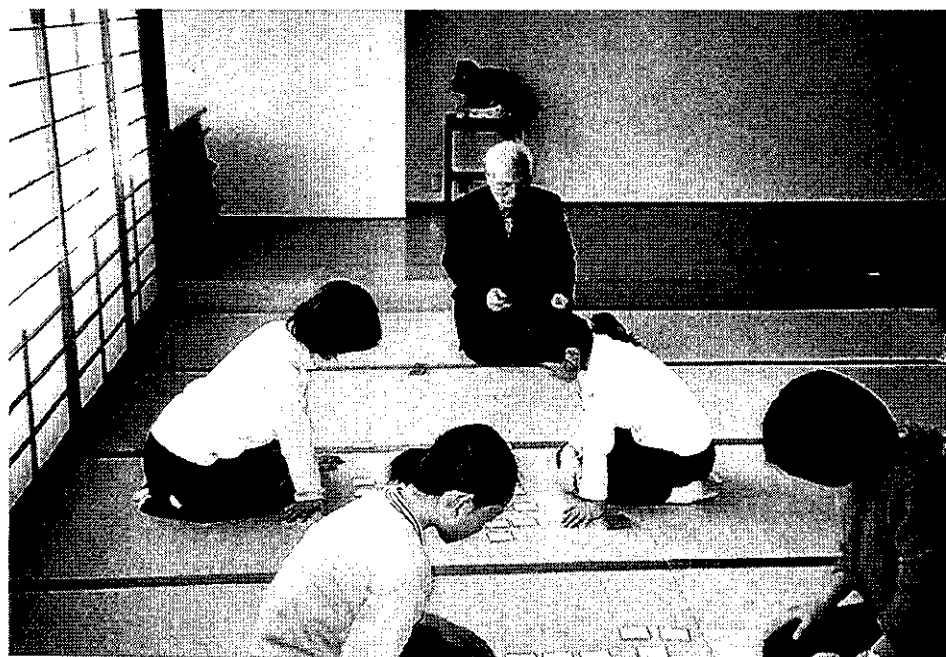
参加者 延べ77人

P R 広報、ポスター（市内掲示板・公共施設）チラシ（公共施設）小中学校へポスター掲示

評 価

指導者のアドバイスで札が取れるようになってきたが、参加者が長続きしない。

P Rの方法を考えたい。



いきいき子育てルーム

- 主 旨** 子育てで家に閉じこもりがちな保護者に交流の場をつくり、情報交換や子育ての悩みについてアドバイザーが応え、ひとときの居場所づくりをする。
- 日 時** 年間を通し、毎月第1,3金曜日。 午前10時30分～11時30分
- 回 数** 全21回
- 会 場** 西河原公民館・幼児室
- 内 容** 話し合い、てあそび、おはなしあそび
- 教 材** 講師作成のもの、画用紙、折り紙など
- 指導員** 飛川 淑
- 対 象** 乳幼児（3歳くらいまで）とその保護者
- P R** 広報、チラシ・ポスター
- 参加者** 延べ245人、うち子ども132人、大人113人
- 経 費** 指導員はボランティアでお願いしている。
- 評 価**

この事業は、来たい時に自由に参加してもらうため、各回人数も参加者もまちまちであるが、主な目的が子育ての不安を和らげたり、情報交換をしたりする保護者の交流の場であるので、参加を強制にするべきではないと思っている。この点では当日来た幼児の年齢によっても遊び方が異なるため、指導員が事前準備をやりづらいことがネックになっているが、指導員の長年の経験と柔軟性で臨機応変に対応していただいている。天候によって人数に差が出るが、年間をとおして問い合わせや参加者も多く、このような場のニーズが高いことがうかがえ、予算はないが今後も続けるべき事業だと思っている。こういったなかでボランティアで引き受けていただいている現指導員のような人材を大切にしていきたい。



西河原公民館後援事業

主 旨 市民の学習・文化活動が根付き、発展していくための援助の一環として「狛江市教育委員会後援名義等使用承認事務取扱要綱」に基づき後援をした。

〔第5回狛江新能〕

主 催 狛江新能実行委員会

日 時 平成15年10月19日（日）

午後4時30分開場

午後5時30分開演

会 場 西河原公園 芝生広場

演 目 能 「海士」 観世流 梅若 万三郎
狂言 「附子」 大蔵流 山本 泰太郎
舞囃子 「屋島」 観世流 古室 知也
「猩々」 観世流 梅若 久紀

参観者 400名

豊かな利用をすすめるために

学習情報室（図書室）

図書室資料の収集数（平成16年3月31日現在）

図書	31,944冊	ビデオテープ	487本
雑誌	36誌	LD	54本
新聞	4誌	CD	959本
		カセットテープ	142本

図書の貸出しおよび館内サービス

個人貸出	図書	一人8点2週間
		うち、CD……………3点
		ビデオテープ………1点
		カセットテープ…1点

閲覧室	45席
AV視聴室	9席
予約サービス	市立図書館・室間等の相互貸し借りによる資料の提供 インターネットによる狛江市内の本の検索・予約

発行物

「にしがわらBOOKだより」毎月

資料展示

テーマ別に随時展示

利用統計

	貸出 利用者数	AV館内 利用者数 (視)	AV館内 利用者数 (聴)	案内	貸出冊数 (AV除く)	AV 貸出冊数	レファレンス
4月	1,161	225	76	45	2,808	766	83
5月	1,260	207	60	34	3,286	847	91
6月	1,006	199	46	34	2,396	714	84
7月	1,436	333	72	43	3,603	854	100
8月	1,602	285	51	48	3,929	814	160
9月	1,289	238	58	25	3,217	829	77
10月	1,197	217	63	40	3,150	817	99
11月	1,121	218	48	21	2,754	695	98
12月	1,059	192	71	43	2,536	683	105
1月	1,099	182	35	40	2,632	713	95
2月	1,241	191	40	46	3,039	849	127
3月	1,265	217	38	39	3,118	778	103
合計	14,736	2,704	658	458	36,468	9,359	1,222

展示ギャラリー

主 旨 芸術文化関係団体及び個人の作品展や活動発表展等、市民のギャラリーとして活用する。

会 場 西河原公民館 展示ギャラリー

日程及び内容

	展示期間	団 体 名	内 容 (テーマ)	参観者数(人)
1	H15.4.2~4.7	フォトサークル狛江	写真展・心の裏磐梯	235 人
2	H15.4.8~4.14	フォトサークル狛江	邦楽百選会 20 周年記念写真展	345 人
3	H15.4.16~4.22	フォトサークル木瓜	写真展	138 人
4	H15.4.23~4.30	グループKOMA	絵画展・市民の啓発、グループKOMA5 人展	80 人
5	H15.5.7~5.12	フォトサークル狛江	小林尚人写真展「季節の詩」	221 人
6	H15.5.16~5.18	狛江バラ愛好会	春のバラ展	120 人
7	H15.8.9~8.12	個人 井野陽子	井野陽子傘寿(80 歳)記念	252 人
8	H15.9.5~9.14	緑ワーキングクラブ	狛江の銘木展。写真など。	500 人
9	H.15.9.17~9.22	狛江薪能	5 周年記念展示。ポスター原画、舞台写真、能面の展示。	120 人
10	H15.10.15~10.22	狛墨会	水墨画の展示	221 人
11	H15.11.2~11.9	万葉名歌玉川碑に集う会	万葉集「東歌」の世界に集いいにしえの狛江に親しむ。写真展等。	185 人
12	H15.11.10~11.16	いずみフォトサロン	写真展第 3 回発表会	528 人
13	H15.11.25~12.1	狛江写真サークル フォト銀杏	モノクローム写真展。光と影のファンタジーPart I	140 人
14	H15.12.4~12.10	狛江写真サークル フォト銀杏	モノクローム写真展。光と影のファンタジーPart II	140 人
13	H16.3.17~3.22	恵泉書道会	書道作品展	305 人

方 法 希望にそってパネルをセッティングして行う。

対 象 市民、市内活動団体

参観者 延べ 3,530 人

評 価

日頃の学習の成果を発表する場として、また、地域への発信の場としてギャラリーは貴重な場であると思うが、ぽっかりと展示がない月があることもあり、もっと活用すべきである。展示ギャラリーがあることの広報・宣伝を今後工夫すべきである。

狛江市立西河原公民館展示ギャラリー使用要項

1 目 的

狛江市立西河原公民館及び市内の芸術・文化活動の発展のために、展示室が広く活用されるよう、その使用について定めることを目的とする。

2 使用できる団体及び個人

- (1) 狛江市内の社会教育団体が社会教育目的で使用する場合
- (2) 狛江市民及び在学・在勤者が社会教育目的で使用する場合
- (3) 公共団体、教育機関が本来の目的で使用する場合
- (4) 館長が特に認めた団体及び個人が社会目的で使用する場合

3 使用期間

原則として、1週間以内とし、火曜日（休館日の場合は水曜日）から翌週の月曜日までとする。（準備及び片付けも含む）

4 使用時間

午前9時から午後9時30分

5 使用申請

3ヶ月前の属する月の初日（休館日及び休日・祝日に当たる場合は翌日）から、狛江市立公民館条例施行規則第5条に定める使用申請書と別紙「展示ギャラリー使用申請書兼展示計画書」（別紙1）により申請する。

6 使用報告書

展示終了後、「展示結果報告書」（別紙2）を提出する。

7 その他

- (1) 使用期間中の展示ギャラリーの管理及び展示物の紛失・破損等の責任は全て主催者が負う。
- (2) 使用期間中は、原則として、受付・説明等に当たる者を配置する。
- (3) 使用中に発生するごみは持ち帰る。
- (4) 展示期間中における展示物の販売は当館内では禁止する。

8 この要項は、平成9年5月1日から施行する。

パソコン室使用者協議会

- 主 旨** パソコン室の円滑な利用、運営を図るために“使用者協議会”を組織し、会員に「許可カード」を発行し、勉強会や講習会を行っている。
- 機 器** ディスクトップパソコン2台、ノートパソコン6台（インターネット接続）、ワープロ2台
- 内 容** 【勉強会】（協議会会員）
毎週金、土曜日 午前10時～12時
【初歩講習会】（市民対象ーいべんと西河原の体験コーナー参加者）
6月～8月 毎週金、土曜日の午前、午後 4グループ 12日開催 参加者20名
【秋の研修会】バス見学会
10月17日（金） 秩父（庁用バス使用） 参加者37名
【運営委員会】
月例12回開催

利用者 許可カード発行者：85名 利用者延べ824人

評 価

ノートパソコンを増設して、インターネット接続もし、条件整備は一步進んだ。だが、市民開放に向けては運営体制の整備に課題がある。協議会とも協議しながら検討していきたい。

【利用状況】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合 計
4月	2		3	1	28	30		64
5月	1		2		43	31		77
6月	4		4		31	37		76
7月					47	40		87
8月			4	2	27	31	5	69
9月			1		34	36		71
10月					30	46		76
11月					34	58		92
12月					20	21		41
1月					23	19		42
2月					22	13	12	47
3月					20	45	17	82
合 計					459	407	34	824

狛江市立西河原公民館パソコン室情報学習コーナー使用要項

平成11年4月1日

狛江市立西河原公民館

I 目的

パソコン室に備えるパーソナルコンピューター（以下パソコン）及びワードプロセッサ（以下ワープロ）とその周辺機器、ソフトを利用できる者や利用上の一定の基準を定め、「情報学習コーナー使用許可カード」（以下許可カード）の発行をもって市民の利用に供するものとする。

II 対象者

次の1、2に該当するもので、本人が希望し、館長が認め、かつ「パソコン室使用者協議会」に加入した者に『許可カード』を発行します。

- 1 西河原公民館長の指定する講習会を終了した者。
 - * 西河原公民館主催のパソコン・ワープロ講習会等。
 - * 社会教育課等関係公共機関の開催する当該事業。
- 2 特に館長が認めた者や指定する事業参加者。
 - * 技量及び技術が相当と認められ、他の利用者と協調できる者。
 - * 障害者青年学級、日本語教室等の参加者。
- 3 臨時及び暫定的に使用する際に「体験使用許可カード」も発行します。

III 使用条件

適正使用のため、下記の範囲で使用するものとします。

- 1 使用できるのは休館日以外の午前9時から21時の間で、1日に指定時間帯1スパンに限ります。
- 2 使用許可カードに指定した機器以外は使用しないでください。
 - ① P-パソコン、ワープロ
 - ② W-ワープロ
- 3 原則として、1スパンで1台につき2名までの使用を限度とします。
- 4 妊娠中の方の使用はご遠慮ください。
- 5 使用の際は、健康管理上、3時間の連続使用を避け、途中休憩を入れながら使用してください。
- 6 機器類の正しい使用、情報管理に留意してください。
- 7 原則として無料ですが、消耗品関係（リボン、印刷用紙、感熱紙等）は実費負担です。また個人用のデータ・フロッピーは使用の都度持参です。

- 8 室内の整理整頓、ゴミの持ち帰りにご協力をお願いします。
- 9 その他、必要な事項は館長が定めます。

IV 使用方法

- 1 3ヶ月前の初日（土、日、休館日に当たった場合は翌日）から受け付けます。空いている時は先着順で使用してください。
- 2 使用の際は、事務室窓口に“許可カード”を必ず提出し、「パソコン室」の鍵を受け取って使用してください。使用后、鍵を返却してカードを受け取ってください。

V 使用時間帯

- ① 9時～12時 ② 12時～15時 ③ 15時～18時 ④ 18時～21時

VI その他

適正使用でない場合は、その使用者に対して全ての許可を取り消し、又は一部使用制限をする場合があります。

平成15年度利用者懇談会報告

日 時 平成15年5月21日(水)

午前の部：午前10時～11時10分

夜間の部：午後7時～8時15分

会 場 西河原公民館 学習室Ⅰ

内 容 館長挨拶

職員紹介(友野、松原、三角、午前のみー西村)

公運審委員紹介(夜間のみー坂本委員長)

- ・西河原公民館利用団体の交流
- ・平成15年度西河原公民館の運営について
- ・西河原公民館利用上の意見交換
- ・その他(公民館からのお知らせ・お願い)

施設キャンセルについて

- 1 使用しない場合は、必ず連絡ください。
- 2 施設の取消は、事前に窓口及び電話でお願いいたします。

施設使用について

- 1 自動車で来館された場合、駐車中の車の前に止めないこと。
- 2 非常用通路には止めないこと。
- 3 鍵の受渡しは、朝は9時から、支障がなければ始まりの30分前に渡します。(基本的には、時間内)
- 4 主催事業で、先押えする場合がありますが、利用団体にはご理解をお願いします。
- 5 団体のICカード番号、暗証番号は、全員がわかるようにして下さい。
- 6 受付(申し込み)及び調整会議ではやり方がわかるように引継ぎして下さい。

印刷機使用について

- 1 コピーで同じ物を20枚以上取る場合は、印刷機の方が安くなります。
- 2 印刷機を使用する場合、8月以降は事前に用紙を用意してください。

参加者 午前の部：41団体46名

夜間の部：32団体29名

質疑応答及び意見交換

* 暗証番号は、いらないのではないか。

→パソコン処理をしているため、変更するには費用もかかりますので、いままでどおり登録番号と暗証番号を入力して行ってください。

* 視聴覚室の椅子がしみで汚れているので取替えていただきたい。

→椅子は備品ですので、財政がきびしいため予算が取れません。状態を見て使用していきたい。

* ホールのテープレコーダーのスイッチやリバーズ部分に不具合がある。

→スイッチはタッチする程度でお願いします。具合が悪いときはご連絡ください。

* ビデオ編集機が古く今はデジタル化となっているので、替えて欲しい。

→財政がきびしいので予算が取れません。

* 料理実習室の調理器具を買って欲しい。

→何が不足しているか調べて、予算の範囲内で購入していきます。

* リハーサル室が夏場非常に熱いので温度を下げて欲しい。

→冷房は全館の設定となっておりますので、1室だけを涼しくするのは困難ですのでご理解願います。

* 利用団体が使用している部屋に他の利用団体が物等を取りに入る場合は、団体名、氏名を告げて欲しい。

→お互い気持ち良く使用していくには、声を掛けて部屋に入るようにして行きましょう。

機能別施設・利用団体との調整及び懇談

[料理実習室の整理・清掃及び懇談]

主 旨 料理実習をお互い気持ち良く使っていくために利用団体に集まっていただき、整理・清掃に協力をお願いし、併せて、使い勝手等について意見交換の機会とする。

日 時 平成15年12月3日（水）午前10時～正午

場 所 料理実習室

参 加 利用団体：7団体・9名

西河原公民館利用のご案内

西河原公民館を社会教育目的で利用される団体は無料ですし、目的外利用や市外団体より優先して貸し出します。

◆ 西河原公民館を社会教育目的で利用する団体には、あらかじめ“施設利用団体登録”をしていただき、施設予約のためのICカードを発行します。(団体の性格や使用目的で登録できない場合があります。)

◆ 団体の要件は

1. 活動目的が主として社会教育活動(福祉活動を含む)で、非営利活動でなければなりません。

2. 活動の拠点が泊江市でなければなりません。

3. 構成する会員の過半数が市内に在住・在勤・在学でなければなりません。

4. 団体代表者は市内在住者でなければなりません。

5. 活動が会費制で、財源が公平に負担されていて、運営が会員主体で民主的でなければなりません。

6. 代表者と指導者は別でなければなりません。

7. 市民に開放された団体で、他の団体と協調できることが必要です。

8. 主として児童生徒中心とした団体は成人の責任者が必要です。

◆ 特別な場合の貸し出し

“施設利用団体登録”済みの団体が、全市的・全館的な催しで、3ヶ月前

《目的外、市外団体の取り扱い》

◆ 社会教育目的以外の団体や市外の団体は2ヶ月前から貸し出します。1. 企業や営利団体の場合は必ず申し出てください。

* 私立学校(幼稚園、各種学校等)等が随時に利用する場合。(無料)
* 企業等が内部の会議や研修で商品や企業宣伝をしない場合。

(有料)

2. 政党や政治団体が選挙期間以外に利用する場合はご相談ください。

* 不特定の市民を対象とした市政報告会や時局演説会の場合。

(無料)

* 組織内の学習会や各種集会。

(有料)

3. 市外団体(社会教育活動でも)にも施設の空き状況で可能です。

(有料)

《利用をお断りする場合》

◆ 営利活動

1. 企業や営利活動としての教室事業や塾。

2. 不特定の市民に対する物品の宣伝・販売・相談(敷地内での斡旋、集金等の行為)。

3. 営利団体の興業行為や映画等の撮影。

◆ 政党活動

政党・政治団体の宣伝・拡大活動。

◆ 宗教活動

宗教団体の利用は憲法89条により

◆ その他、公序良俗、公共の福祉に反する行為が予期される時はお断りする場合があります。

《開館時間及び休館日》

◆ 開館時間は午前9時～午後9時30分

午前 9:00～12:00

午後 13:00～17:00

夜間 18:00～21:30

* この時間帯は準備や後片付けのための時間も含んでいます。

◆ 休館日

1. 毎月第1、3火曜日

2. 国民の祝日及びその日が上記と重なった日の翌日。

3. 年末年始 12月28日～1月4日

4. 緊急及びやむを得ない事情で教育委員会が指定した日や時間

《利用の制限》

◆ 連続2日を越えての利用はできません。

《施設の予約と手続き》

◆ ICカードをお持ちの方

○ 抽選予約(機械抽選は行いません。)

1. 毎月1日～10日までにロビー端末(設置場所: 西河原公民館・中央公民館・市役所市民課・総合体育館、利用時間: 休館日以外の9:00～21:30)及びインターネット(利用時間: 5:00～24:00)で3ヶ月前の抽選予約をしてください。

覧は、11日～調整日まで掲示します。(電話での問い合わせも可)
3. 重複している団体は、調整日(15日。その日が休館日、土、日と重なった時は前日)の午前9時まで調整会場に集合し、予約の調整をします。

4. 許可書は、20日以降、事務室窓口で受け取りください。

○ 通常予約

1. 16日から利用4日前までロビー端末及びインターネットから先着順で仮予約ができます。(11日～15日までは、3ヶ月前の仮予約はできません。)利用3日前からは事務室窓口で直接受け付けます。

2. 電話による仮予約の受け付けは、16日以降です。

3. 許可書は、改めて事務室窓口で受け取りください。

☆ インターネット

泊江市ホームページから

<http://www.city.komae.tokyo.jp>

◆ 社会教育目的以外や市外の団体は2ヶ月前の初日から休館日以外に事務室窓口で受け付けます。

◆ 有料扱いの団体は申し込み時に施設使用料をいただきます。

泊江市立西河原公民館

003-3480-3201

資 料

利用統計

施設、付帯設備、備品料金

平成15年度 西河原公民館利用状況

1. 時間帯別集計

各 単位数	総 単位数	9時～12時		13時～17時		18時～21時30分		合 計 件 数		利 用 者 数 (人)						
		件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	有 料	合 計	有 料				
視聴覚室	319	957	267	0	83.7	264	0	82.8	243	0	76.2	774	0	8558	0	0
リハーサル室	319	957	242	19	75.9	221	4	69.3	203	6	63.6	666	29	4639	51	1.1
ホール	319	957	304	1	95.3	265	0	83.1	269	1	84.3	838	2	25934	70	0.3
料理実習室	319	957	180	3	56.4	62	3	19.4	47	1	14.7	289	7	5509	109	1.9
茶室	319	957	233	3	73	73	12	22.9	95	4	29.8	401	19	3750	129	3.4
和室	319	957	272	0	85.3	241	1	75.6	159	1	49.8	672	2	6564	44	0.7
学習室Ⅰ	319	957	200	12	62.7	222	9	69.6	116	3	36.4	538	24	11075	531	4.8
学習室Ⅱ	319	957	196	7	61.4	186	13	58.3	148	2	46.4	530	22	5330	270	5.1
学習室Ⅲ	319	957	228	22	71.5	175	25	54.9	158	18	49.5	561	65	5538	459	8.3
生活工芸室	319	957	293	0	91.8	21	0	6.6	14	0	4.4	328	0	4845	0	0
計	3190	9570	2415	67	75.7	1730	67	54.2	1452	36	45.5	5597	170	81742	1663	2
その他														7205		
合 計														88947		

暗室・陶芸窯・展示ギャラリー・幼児室

2. 曜日別集計

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		日曜日	
	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
視聴覚室	104	78.7	56	74.6	100	66.7	150	98	129	84.3	125	86.8	110	73.3
リハーサル室	87	65.9	43	57.3	125	83.3	119	77.7	99	64.7	105	72.9	88	58.7
ホール	124	93.9	62	82.6	150	100	145	94.7	134	87.5	114	79.2	109	72.7
料理実習室	16	12.1	23	30.6	52	34.7	51	33.3	33	21.5	71	49.3	43	28.7
茶室	64	48.4	17	22.6	71	47.3	66	43.1	46	30	78	54.2	59	39.3
和室	86	65.5	53	70.6	114	76	125	81.6	124	81	114	79.2	56	37.3
学習室Ⅰ	71	53.7	32	42.6	89	59.3	107	69.9	92	60.1	91	63.2	56	37.3
学習室Ⅱ	68	51.5	41	54.6	94	62.7	89	58.1	79	51.6	99	68.7	60	40
学習室Ⅲ	83	62.8	34	45.3	97	64.7	87	56.8	96	62.7	103	71.5	61	40.7
生活工芸室	43	32.5	23	30.6	54	36	51	33.3	55	35.9	50	34.7	52	34.7
合計	746	56.5	384	51.2	946	63.1	990	64.7	887	58	950	66	694	46.3
開館日数	44		25		50		51		51		48		50	

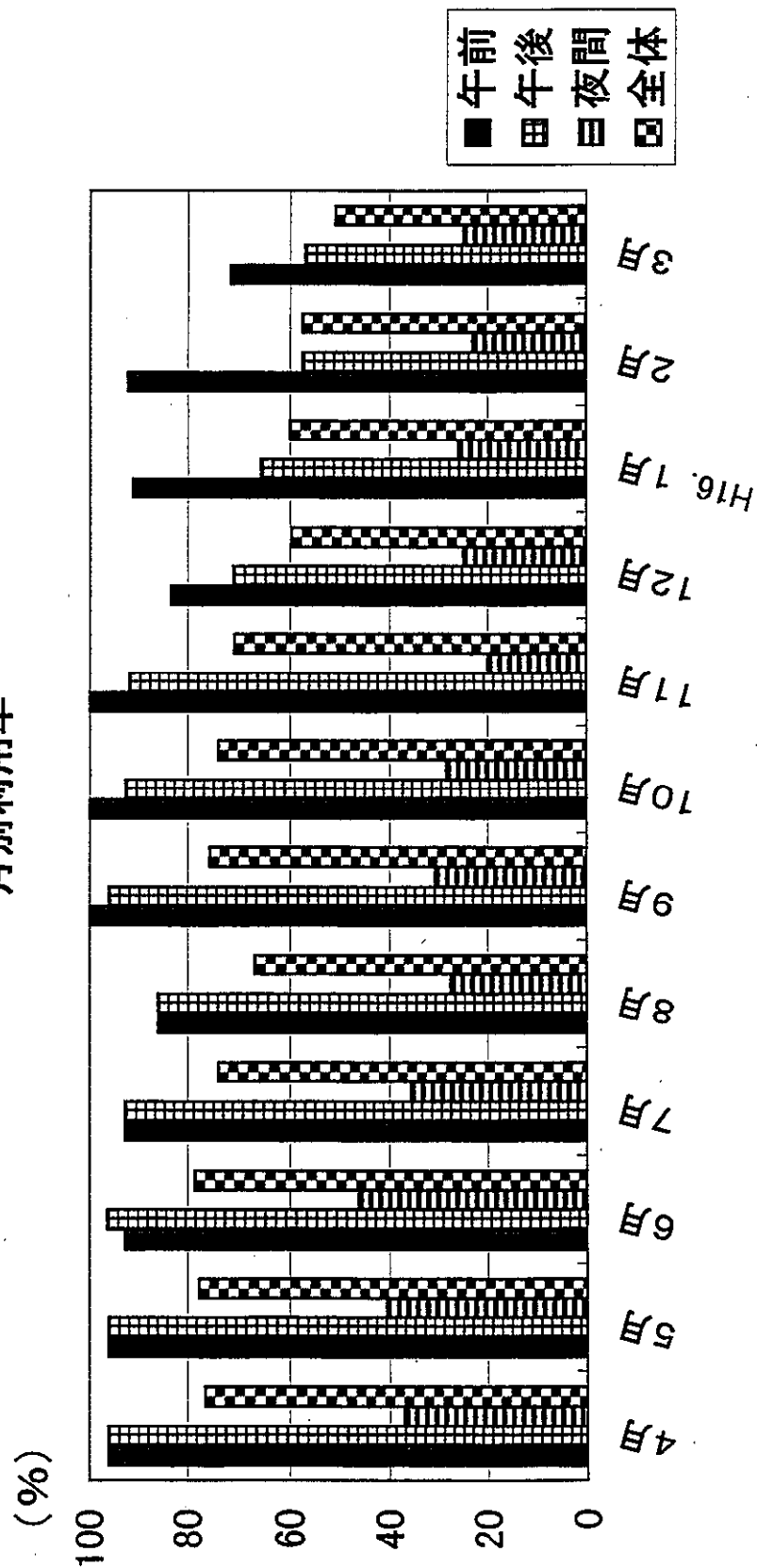
備 考	
開館日数 (日)	319
単位数	957
休館日 (日)	45
1日当り平均件数 (件)	17.5
1日当り平均利用率 (%)	58.5
1日当り平均利用者数 (人)	278.8
1日当り平均利用者数 (人)	14.1
総単位数 (単位数×10室)	9570
有料割合 (%)	2.7
月曜日	11 金曜日
火曜日	16 土曜日
水曜日	28 日曜日
木曜日	28 計

3. 月別利用率

単位: %

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H16. 1月	2月	3月
午前	96.2	96.2	92.8	92.8	92.8	86	100	100	83.3	91.3	92.3	71.4
午後	96.2	96.2	96.4	92.8	86	96.1	92.8	92	70.8	65.5	57.6	57.1
夜間	37	40.7	46.4	35.7	27.5	30.7	28.5	20	25	26	23	25
全体	76.5	77.7	78.5	73.8	66.6	75.6	73.8	70.6	59.7	60	57.6	51.1

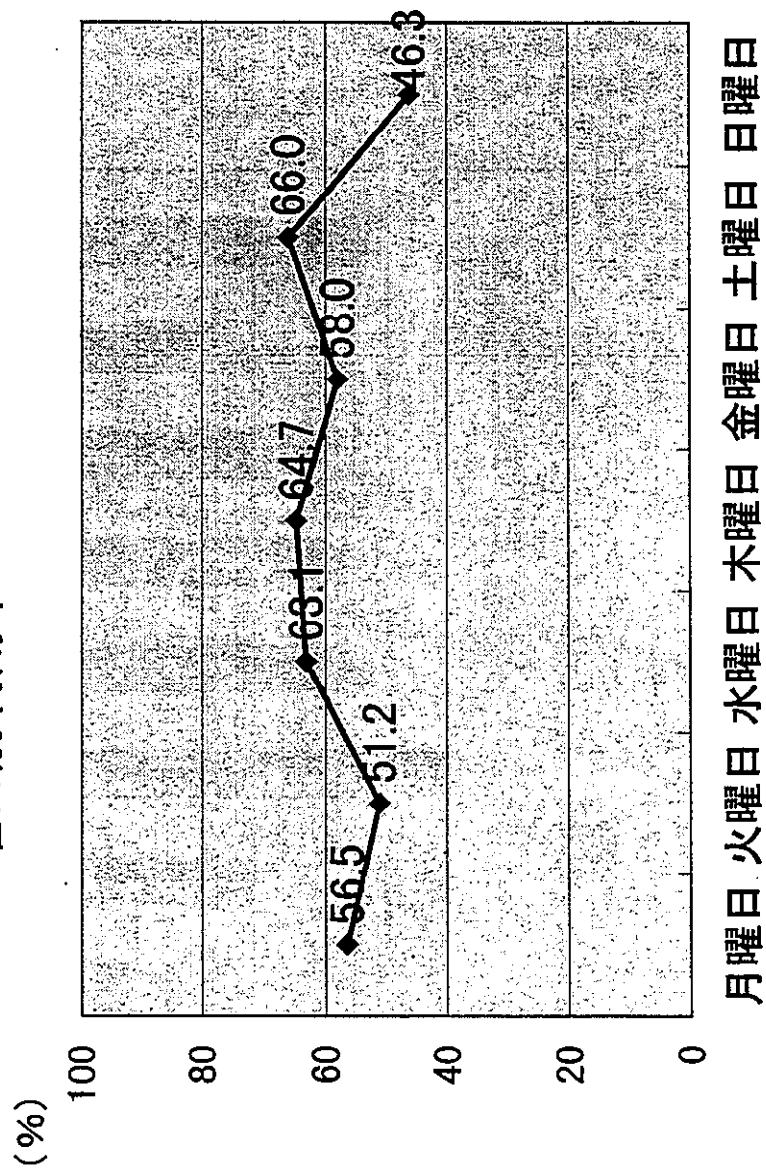
月別利用率



4. 曜日別利用率

単位: %							
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	日曜日
利用率	56.5	51.2	63.1	64.7	58.0	66.0	46.3

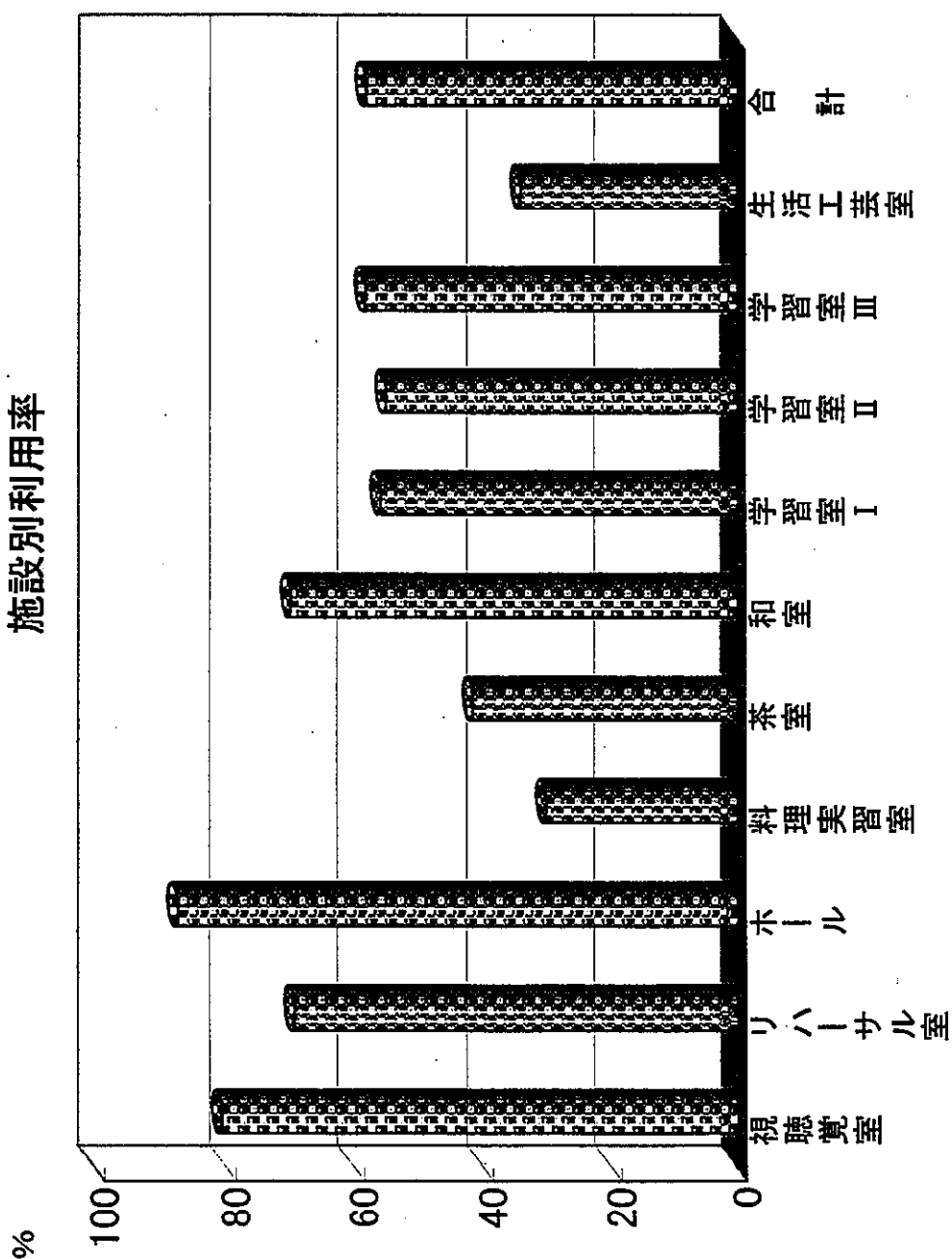
曜日別利用率



5. 施設別利用率

		単位: %									
施設名	利用率	視聴覚室	リハーサル室	ホール	料理実習室	茶室	和室	学習室Ⅰ	学習室Ⅱ	学習室Ⅲ	生活工芸室
利用率	80.9	69.6	87.6	30.2	41.9	70.2	56.2	55.4	58.6	34.3	58.5

施設別利用率



西河原公民館貸出備品・用具一覧

平成16年3月31日現在

品 名	説 明	館内	館外	保管場所	備 考
16mm映写機エイキ	ポータブル・セミオート	○	○	ホール操作室	操作講習会修了者
スクリーン(三脚付)		○	○	団体活動室	
ビデオカメラ1	スタジオカメラ	○		視聴覚室内倉庫	
ビデオカメラ2	デッキー体型	○	○	視聴覚室内倉庫	
ライティングキット	500W×3灯×2	○	○	視聴覚室内倉庫	
三脚		○	○	視聴覚室内倉庫	
ビデオセット1	29インチ・S-VHSデッキ再生専用	○		団体活動室	
ビデオセット2	31インチ・S-VHSデッキ再生専用	○		視聴覚室	
ワイヤレスアンプ	ワイヤレスマイク・カセットデッキ	○	○	事務室	
スライドプロジェクター		○		事務室	
OHP		○		団体活動室	
ラジオカセット	4台	○		事務室	
CDラジオカセット	3台	○		事務室	
延長コード(ドラム含む)		○		事務室	
トラジスタメガホン	TOAハンドマイク	○	○	事務室	
トランシーバー	3台	○	○	事務室	
譜面台	30本	○		ホール内倉庫	
花瓶	舞台等装飾用	○		ホール側廊収納庫	
花器・剣山		○		料理実習室内倉庫	
パネル	1200×1800	○		2階倉庫	
和太鼓	3台	○		視聴覚室準備室	館外相談
囲碁セット		○		団体活動室	
画架(イーゼル)	15本	○		2階倉庫前	

* 館外貸出しは原則3日間とし、それを超える場合は、活動プログラムなど必要性を説明できる資料を添えて、早めに申請する。

狛江市立西河原公民館施設・設備・備品料金表
 目的外・市外団体の使用料は次のとおりとする。

施設使用料

(単位:円)

施設使用料

施設名	時間区分	午 前	午 後	夜 間	全 日
	9時～12時	1時～5時	6時～9時半	9時～21時半	
生 活 工 芸 室		1,500	2,100	2,500	6,100
暗 室		900	1,000	1,100	3,000
学 習 室 I		1,400	1,900	2,300	5,600
学 習 室 II		1,000	1,300	1,600	3,900
学 習 室 III		700	900	1,100	2,700
和 室 I		1,600	2,000	2,400	6,000
和 室 II		800	1,000	1,200	3,000
茶 室		900	1,100	1,300	3,300
料 理 実 習 室		1,300	1,700	2,000	5,000
多 目 的 ホール		7,200	9,600	11,500	28,300
リ ハ ー サ ル 室		500	600	700	1,800
視 聴 覚 室		1,400	1,800	2,200	5,400
展 示 ギャラリー	展示期間は2週間を限度とし、1日に付、3,300円とする。				
*多目的ホール使用の際、舞台または客席(フロア)-のみ使用する場合は使用料は、同ホール使用料の100分の50とする。					

備品使用料

(単位:円)

備 品 の 名 称	単位	使 用 料	摘 要
所作台	一式	4,000	
屏風	一双	1,000	
演壇	1台	500	花置台付
指揮台	1台	200	
譜面台	1台	100	
平台	1台	200	
箱馬	1台	50	
花瓶	1器	200	
ミラーボール	1台	800	
和太鼓	1式	600	
ダイナミックマイク	1本	500	
コンデンサーマイク	1本	800	
ワイヤレスマイク	1本	1,000	
レコードプレーヤー	1台	800	
CDプレーヤー	1台	500	
カセットテープレコーダー	1台	500	
ホール用簡易型移動式アンプ	1式	2,000	ワイヤレスマイク2本含
移動アンプ	1式	500	
グランドピアノ	1台	3,000	
アップライトピアノ	1台	1,000	
ビデオセット	1式	600	33インチ・再生専用
ビデオセット	1式	500	29インチ・再生専用
スタジオ型ビデオカメラ	1台	2,000	
OHP	1式	500	
スライドプロジェクター	1式	500	
ステレオラジオカセット	1台	100	
移動用黒板	1台	100	
延長コード	1台	100	
持込器具	1台	200	

* 備品の使用料は、午前・午後・夜間の区分ごと1回の使用料とする。

付属設備使用料

(単位:円)

付属設備の名称	単位	使 用 料
反響板	1式	4,000
スクリーン	1式	1,000
フットライト	1列	700
アッパー・ホリゾンライト	1列	800
ロー・ホリゾンライト	1列	800
ボーダーライト	1列	700
サスペンションライト	1灯	300
フロントサイドスポットライト	1灯	300
シーリングスポットライト	1灯	300
ピンスポットライト	1灯	500
スポットライト	1灯	200
エフェクトマシーン	1式	1,300
舞台用スピーカー	1式	2,000
音響拡声器装置	1式	3,000
ビデオデッキ・モニターカメラ	1式	2,000
16 ^{mm} 映写機(多目的ホール)	1台	3,000
16 ^{mm} 映写機(ポータブル)	1式	1,000
陶芸窯	素焼	5,000
陶芸窯	本焼	15,000
ビデオ編集機	1式	3,000

* 付属設備の使用料は、午前・午後・夜間の区分ごと1回の使用料とする。

ただし、陶芸窯の使用料は使用工程ごとに1回とする。

登録番号（刊行物番号）

H16-1

平成15年度西河原公民館の活動の記録

発 行 平成16年6月

編集・発行 狛江市立西河原公民館

〒201-0013

東京都狛江市元和泉二丁目35番1号

電話 03-3480-3201

FAX 03-3480-3203